

神奈川認定看護師会 第9回セミナー報告

第9回手術看護セミナー 「手術患者の情報収集とアセスメント」



～施設からの紹介～

①術前訪問の情報収集の標準化への取り組み

【社会福祉法人国際親善総合病院 澁谷 勲】

術前訪問時における、情報収集を標準化するための取り組みについて紹介がありました。情報収集の見直し、新術前訪問記録用紙についての説明、試行してみた評価内容が含まれていました。

②手術室全体で取り組む情報収集・アセスメントの強化

【国家公務員組合連合会横浜南共済病院 田中 佳那】

手術室全体で取り組みを行い、情報収集、アセスメントの強化のための取り組みについて紹介がありました。電子カルテからの情報収集内容、術前訪問での情報収集、看護計画の立案をもとに、器械出し看護師と外回り看護師でのミーティング、手術室全体でのショートカンファレンスの概要や内容が含まれていました。

③安全な手術のための情報収集

【昭和大学藤が丘病院 岡田 貴枝 櫻田 亜紀子】

緊急手術を手術室として受けるとき、情報収集の方法や内容について紹介がありました。緊急手術を受ける患者とは、安全に行うために手術室看護師が行う環境づくりについて、情報収集の内容とそれらの情報の優先順位の考え方、多職種との情報共有内容、手術室看護師間での情報共有内容について含まれていました。

ランチョンセミナー

美味しいお弁当を食べながら「体温管理の基礎知識～効果的な加温方法とは～」について3M ジャパンから講義を受けました。興味津々な様子で聴講する参加者も多く、ベアハガーの正しい使用方法や効果的な加温方法など日頃の疑問を解消されました。

開催場所

横浜市立大学金沢八景
キャンパスYCUスクエア
ピオニーホール

【プログラム】

11:00-11:40

手術看護認定看護師による
施設紹介①

12:00-13:00

ランチョンセミナー

スリーエムジャパン(株)

13:30-14:10

手術看護認定看護師による
施設紹介②③

14:40-16:40

グループディスカッション
発表

【参加状況】

参加総数 118名

神奈川県内の

手術室看護師 91名

手術看護認定看護師 21名

認定看護師会世話人 6名



グループディスカッション

グループワークを始める前に、日本メディカルネクスト企画でアイスブレイクをしていただきました。アイスブレイクにより会場は、大いに盛り上がりました。

グループワークのテーマとして、1.術前の情報収集の方法について日々感じている現状の問題点と課題 2.多職種との情報の共有・現状の方法と有効な取り組み 3.短期間でのスタッフの情報収集からアセスメントまで引き出すための教育と課題とし、各グループで、テーマを選択してもらいディスカッションが行われました。各グループで活発な情報交換と自施設の情報収集の現状についてディスカッションが行われました。時間が足りないグループもたくさんありましたが、他施設の取り組みを知り、今後の課題が明らかになった参加者も多くいたようです。

発表・まとめ

グループワークテーマ 1.術前の情報収集の方法について日々感じている現状の問題点と課題では、看護師により収集する情報がバラバラになってしまう、担当看護師が術前訪問にいけない、統一した用紙等がないなどの意見がありました。テーマ 2. 多職種との情報の共有・現状の方法と有効な取り組みでは、多職種ともカンファレンスの場が必要である事や、医師のカンファレンス内容も記録に残していきたいとの意見がありました。テーマ 3. 短期間でのスタッフの情報収集からアセスメントまで引き出すための教育と課題では、先輩の術前訪問を見学していくこと、カンファレンスを通して先輩からアドバイスを受けていきたいなど、後輩からの意見もありました。

参加者の協力もあって有意義なセミナーとなりました。貴重なお休みを使ってご参加いただいた参加者の皆様、ありがとうございました。

今後の神奈川手術看護セミナーのお知らせ

現在、県内 26 施設 29 名の手術看護認定看護師が登録し、活動を実施しております。

次年度も新たな手術看護セミナーを企画しております。開催日等の詳細については、学会ホームページ、又は共催メーカーより直接ご案内に伺わせていただきますので、ふるってご参加ください

神奈川手術看護認定看護師会

